

人権コラム 心、豊かに

◆ 国や文化を超えた友情を築く

7月30日は「国際フレンドシップ・デー」です。2011年（H23年）7月の国連総会において、国や文化を超えた友情が世界平和を促進することを想起する日として制定され、「国際友情デー」とも呼ばれています。

また、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致によって採択されたSDGs（持続可能な開発目標）では、「パートナーシップで目標を達成する」ことが17番目の目標として掲げられています。SDGsは、「誰一人取り残さない」ことを目指しており、「ジェンダー平等の実現」、「人や国の不平等をなくす」、「平和と公正を全ての人に」など、人権問題に係る目標が多く掲げられています。その上で、人権問題を含めた様々な社会問題の解決には、「国際的な協力＝友情」が不可欠であることが謳われています。

ただ、コロナ禍の終息が未だに見えず、国際情勢が不安定な現況では、「国や文化を超えた友情の実現なんて不可能だ」との声も聞こえてきそうですが、そんな困難の中でもできることがあります。

それは、“相手を尊重し、理解しようとする”ことです。性別、年齢、人種、国籍、宗教、信条、身体的な特徴など、様々な特性を持つ相手に合わせた適切な言動をとることは、一朝一夕で身につくような簡単なことではありません。さらに、「国や文化を超えた友情」を築こうとするのであれば、相手を理解することはより重要になってきます。

様々な特性について正しい知識がないと、何気ない一言が、相手を傷付けてしまうこともあります。そうならないためにも、普段から人権問題についてアンテナを張っておくことが大切です。相手を尊重し、理解しようとするのが、どんな相手とでも“国や文化を超えた友情”を築き、“世界平和を促進する”ことにつながるのではないのでしょうか。